

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成25年5月9日(2013.5.9)

【公表番号】特表2012-521441(P2012-521441A)

【公表日】平成24年9月13日(2012.9.13)

【年通号数】公開・登録公報2012-037

【出願番号】特願2012-502164(P2012-502164)

【国際特許分類】

A 6 1 K	39/085	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
G 0 1 N	33/53	(2006.01)
G 0 1 N	33/569	(2006.01)
C 0 7 K	14/31	(2006.01)
C 0 7 K	16/12	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	39/085	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 K	39/395	R
A 6 1 K	39/395	D
G 0 1 N	33/53	D
G 0 1 N	33/53	N
G 0 1 N	33/569	E
C 0 7 K	14/31	Z N A
C 0 7 K	16/12	

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月22日(2013.3.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

配列番号397のアミノ酸配列と少なくとも92%の配列類似性を有する単離ポリペプチドを含んでなる組成物であって、但し、該単離ポリペプチドがアミノ末端において1又は複数のさらなるアミノ酸を含む場合には、該1又は複数のさらなるアミノ酸が配列番号399のアミノ酸1～26と比較して、少なくとも1つのアミノ酸の欠失又は少なくとも1つのアミノ酸の置換を含むことを条件とする組成物。

【請求項2】

配列番号408のアミノ酸配列と少なくとも98%の配列類似性を有する単離ポリペプチドを含んでなる組成物であって、但し、該単離ポリペプチドがアミノ末端において1又は複数のさらなるアミノ酸を含む場合には、該1又は複数のさらなるアミノ酸が配列番号415のアミノ酸1～5と比較して、少なくとも1つのアミノ酸の欠失又は少なくとも1つのアミノ酸の置換を含むことを条件とする組成物。

【請求項3】

少なくとも1つの第二のポリペプチドをさらに含んでなる請求項1又は2に記載の組成物であって、ここで該第二のポリペプチドは、鉄キレート剤を含んでなる培地においてイ

ンキュベートさせた場合に、黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) から単離可能であり、そして鉄キレート剤非含有の培地中で成長させた場合に、単離不可能である組成物。

【請求項 4】

鉄キレート剤非含有の培地において成長させた場合に、黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*) から単離可能であり、且つ 150 kDa、132 kDa、120 kDa、75 kDa、58 kDa、50 kDa、44 kDa、43 kDa、41 kDa、40 kDa の分子量を有する単離ポリペプチド；又はこのような単離ポリペプチドの組合せをさらに含んでなる、請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 5】

ブドウ球菌属 (*Staphylococcus* spp.) によって生じる感染症に罹患している又は罹患するリスクがある対象における感染症の治療のための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 397 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 6】

ブドウ球菌属 (*Staphylococcus* spp.) によって生じる感染症に罹患している対象における症状の治療のための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 397 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 7】

ブドウ球菌属 (*Staphylococcus* spp.) によって生じる感染症に罹患している又は罹患するリスクがある対象における感染症の治療のための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 408 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 8】

ブドウ球菌属 (*Staphylococcus* spp.) によって生じる感染症に罹患している対象における症状の治療のための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 408 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 9】

前記医薬組成物が、少なくとも 1 つの第二のポリペプチドをさらに含んでなり、

ここで該第二のポリペプチドは、鉄キレート剤を含んでなる培地においてインキュベートさせた場合に、黄色ブドウ球菌 (*Staphylococcus aureus*) から単離可能であり、そして鉄キレート剤非含有の培地中で成長させた場合に、単離不可能である、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

前記医薬組成物が：鉄キレート剤非含有の培地中で成長させた場合に黄色ブドウ球菌 (*S. aureus*) から単離可能であり、且つドデシル硫酸ナトリウムポリアクリルアミドゲル上における電気泳動によって決定される場合、150 kDa、132 kDa、120 kDa、75 kDa、58 kDa、50 kDa、44 kDa、43 kDa、41 kDa、40 kDa の分子量を有する単離ポリペプチド；又はこのような単離ポリペプチドの組合せをさらに含んでなる、請求項 5 ~ 8 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 11】

ブドウ球菌属 (*Staphylococcus* spp.) によって生じる感染症に罹患している又は罹患するリスクがある対象における感染症の治療のための、単離ポリペプチドに特異的に結合する有効量の抗体を含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 397 のアミノ酸配列と少なくとも 80 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 2】

ブドウ球菌属 (Staphylococcus spp.) によって生じる感染症に罹患している対象における症状の治療のための、単離ポリペプチドに特異的に結合する有効量の抗体を含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 3 9 7 から選択されたアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 3】

ブドウ球菌属 (Staphylococcus spp.) によってコロニー形成された対象におけるコロニー形成を減少するための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 3 9 7 のアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 4】

ブドウ球菌属 (Staphylococcus spp.) によって生じる感染症に罹患している又は罹患するリスクがある対象における感染症の治療のための、単離ポリペプチドに特異的に結合する有効量の抗体を含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 4 0 8 のアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 5】

ブドウ球菌属 (Staphylococcus spp.) によって生じる感染症に罹患している対象における症状の治療のための、単離ポリペプチドに特異的に結合する有効量の抗体を含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 4 0 8 のアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 6】

ブドウ球菌属 (Staphylococcus spp.) によってコロニー形成された対象におけるコロニー形成を減少するための、有効量の単離ポリペプチドを含んでなる医薬組成物であって、

ここで上記単離ポリペプチドが配列番号 4 0 8 のアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドである医薬組成物。

【請求項 1 7】

前記医薬組成物が、少なくとも 1 つの第二のポリペプチドに特異的に結合する抗体をさらに含んでなり、

ここで該第二のポリペプチドは、鉄キレート剤を含んでなる培地においてインキュベートさせた場合に、黄色ブドウ球菌 (Staphylococcus aureus) から単離可能であり、そして鉄キレート剤非含有の培地中で成長させた場合に、単離不可能である、請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 8】

前記医薬組成物が：鉄キレート剤非含有の培地中で成長させた場合に黄色ブドウ球菌 (S. aureus) から単離可能であり、且つドデシル硫酸ナトリウムポリアクリルアミドゲル上における電気泳動によって決定される場合、1 5 0 kDa、2 9 2 kDa、1 2 0 kDa、7 5 kDa、5 8 kDa、5 0 kDa、4 4 kDa、4 3 kDa、4 1 kDa、4 0 kDa の分子量を有するポリペプチド；又はこのような単離ポリペプチドの組合せに特異的に結合する抗体をさらに含んでなる、請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 1 9】

前記抗体がポリクローナル抗体である、請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の医薬組成物。

【請求項 2 0】

前記抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 1 ~ 1 6 のいずれか 1 項に記載の医薬

組成物。

【請求項 2 1】

ポリペプチドに特異的に結合する抗体を検出するためのキットであって、別々の容器中に：

配列番号 4 0 8 又は配列番号 3 9 7 のアミノ酸配列と少なくとも 8 0 % の配列類似性を有する単離ポリペプチド；及び、

ポリペプチドに特異的に結合する抗体を検出する試薬、
を含んでなるキット。

【請求項 2 2】

配列番号 3 9 7 のアミノ酸配列と少なくとも 9 2 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドに特異的に結合する抗体を含んでなる組成物であって、但し、該単離ポリペプチドがアミノ末端において 1 又は複数のさらなるアミノ酸を含む場合には、該 1 又は複数のさらなるアミノ酸が配列番号 3 9 9 のアミノ酸 1 ~ 2 6 と比較して、少なくとも 1 つのアミノ酸の欠失又は少なくとも 1 つのアミノ酸の置換を含むことを条件とする組成物。

【請求項 2 3】

配列番号 4 0 8 のアミノ酸配列と少なくとも 9 8 % の配列類似性を有する単離ポリペプチドに特異的に結合する抗体を含んでなる組成物であって、但し、該単離ポリペプチドがアミノ末端において 1 又は複数のさらなるアミノ酸を含む場合には、該 1 又は複数のさらなるアミノ酸が配列番号 4 1 5 のアミノ酸 1 ~ 5 と比較して、少なくとも 1 つのアミノ酸の欠失又は少なくとも 1 つのアミノ酸の置換を含むことを条件とする組成物。